

土佐希望の家通信

<発行>社会福祉法人 土佐希望の家 高知県南国市小籠 107 TEL 088(863)2131 FAX 088(863)2133
http://www.tosakibou.jp Email:info@tosakibou.jp 発行責任者 門田 正垣 編集責任者 (SW)石川 陽子

理事長挨拶

平成最後の年となります。昨年、師走恒例の漢字「災」(サ
イ/わざわい)に表されているように、地震や豪雨、台風、猛
暑など、自然災害の多かった年でした。被害に遭われた地域の
方々にお見舞い申し上げますとともに、南海トラフ地震が言
われている高知県においても、災害への備えに気を付けるとも
に、今年が災害の少ない年であってほしいと願っています。

さて、昨年は、高知医療センター病院長であった吉川清志医
師が、医療センターを退職され、4月から土佐希望の家医療
福祉センターに来てくださいました。ご案内の方も多いと思
いますが、吉川先生は、県立中央病院時代から長年にわたり小
児科医として、障害児に関わってこられた先生で、土佐希望の
家にも当直などでご協力をいただきました。土佐希望の家
が医師確保で厳しい時代にも、県と共にその善後策にご協力
をいただいていたようにも伺っています。就任と同時に施設長
として、また、土佐希望の家医療福祉センター長としての役割
をお願いしており、更なる医療・福祉の充実に手腕を発揮して
いただけるものと期待しています。

長年の課題であった厨房の移転改築、医局の改修などの施
設整備が、国・県の補助も採択されて、8月に着工できまし
た。工期は今年2月末完成予定となりましたが、災害によ
る資材の搬入遅れなどもあって、厳しい状況もあり、遅くとも
3月の早い時期での完成を目指して、工事関係者とともに全
力を取り組んでいるところです。また外来待合の改修、保護者
談話コーナーなどの整備も行うこととしておりますので、ご利
用者、ご家族の皆さまの利便性が向上するように努めてまい

門田 正垣

ります。

入所は136名の満床が続いていますし、4床の短期入
所利用も、お断りせざるを得ない件数も多く、実質満
床の状況が続いています。発達障害をはじめ、障害児の
外来は増加傾向にありますし、生活介護や放課後等
デイサービスなども、利用回数や送迎など、サービスの
拡充・向上に努めているところです。医療と福祉のサー
ビスが提供できる施設は限られており、こうしたニーズ
に更に応えていくことが、土佐希望の家医療福祉センタ
ーの役割であると考えていますので、充実してきた医療
機能も踏まえて、外来機能や児童発達支援などの拡
充、訪問診療や訪問看護などの新たな在宅支援にも
取り組んでまいりたいと考えています。

一方で、手狭となっている駐車場対策や新たな事業
展開に向けた企画部門の創設、リハビリや相談支援部
門の拡充などの課題もありますが、来年6月の創立
50周年に向けて、機能の拡充と新たな取り組みが着
実に前進するように取り組んでまいります。

今年4月の天皇陛下の譲位に伴い、5月から新
元号となる記念の年です。

ご利用者・ご家族の皆様にとっていい年となりますこ
とを、ご祈念申し上げまして、私からの挨拶といたし
ます。

平成31年 社会福祉法人 土佐希望の家
理事長 門田 正垣

センター長挨拶

吉川 清志

昨年4月に土佐希望の家に赴任して9
か月が経過し、施設の部署名称の変更に伴い
11月から私の役職名はセンター長となりま
した。これまで土佐希望の家の現状を知ろう
と学び経験し、利用者の皆様の顔と病状を
少しずつ覚えて来ましたが、全員の方の情報を
インプットするには時間がかかりそうで
す。利用者の年齢幅が広く高齢化があり病
状は少しずつ異なるのですが、職員はそれぞ
れの方の個性や家族の思いを大切にして、最
適の医療・看護・介護・訓練・栄養を努力し
ています。生活の場でもある施設での生活の
質(QOL)の向上についても、利用者の性格をよく
知っている職員が工夫してくれています。限
られた人と時間でですので限界があるのは確か
ですが、個人の対応、部署・施設での取り組
み、ボランティアの協力などによりQOLを高め
ることは、利用者の喜びとなることはもちろ
んのこと、職員のやりがいに通じると考えて
います。そんな中で生まれた「いいケアしよ
う」プロジェクトの発展を期待しています。
平成は今年4月で幕を閉じ、5月からは
新しい元号となります。元号は年齢などを
数える場合には面倒であり、今後は西暦の

使用が増加するでしょうが、私としては近
隣のアジア諸国では消失した元号や干支は
日本の伝統として大切だと思えます。新し
い元号になると、私の生まれた昭和は遠く
なりにけりとなりそうです。信長の時代は
人生50年、戦前には「村の渡しの船頭さん
は今年六十のお爺さん」と歌われています
が、今では定年も65歳に延長されようと
しており、まだまだ働けるor働かねばなら
ないor働かされている方も多いことでは
う。この現実をどのように捉えるかは個人
差がありますが、私としては人の役に立ち
元気に働けることを喜びとしています。仕
事だけでなく私的な時間も大切にしていま
すよ。総ての基本は心身の健康です。
今年一年間、元気に楽しく一緒に働き
ましょう。



HAPPY LIFE
家族の窓
No.40
寺岡めぐみ様
2病棟



「私の姉へ」 寺岡久美妹
大好きな姉です。自慢の姉です。

小さい時は、ちょうど6歳違いなので入学式、卒業
式などの行事が重なり、口では大丈夫とか言いなが
ら実は少しすねっていました。でも今では逆にちよ
うどいいと思ったりします。もしも姉と逆だったらと考
えることが多くなり、姉に対して私がしてあげられる
ことが増えているので嬉しいのです。しかし私の手は
2本しかないのです。色々な方の手助けがあり、今の姉、
私になっています。ありがとうございます。

姉の入所は突然のこと、在宅介護していた母の骨
折によつてでしたが家族全員が慌てました。母もまさ
かという思いが強かっただろうし、姉も不安で寂しか
つたと思います。私も何もわからないことばかりで毎
日大変でした。

今、少しずつですが姉が変わってきたと感じていると
ころです。私は姉に弱いのです。姉は沢山不満もある
と思います。我慢も沢山してくれています。だから姉
が私を頼ってくれるのが嬉しくて、つい甘やかしてしま
います。でもやはり姉なんです。私、母、弟のことを沢
山考えてくれます。自分のできることを一生懸命や
り、凄く優しい姉です。

私が今後、どれくらいのことができるかわかりませ
んし、私一人でもできることも限られています。施設の
職員の方々と、いろいろと相談しながら、これからも
生きていきたいです。今後ともよろしくお願いしま
す。

最後にめぐみ姉ちゃんへ
久美のお姉ちゃんになつてくれて
ありがとう!!これからも一緒にいてね!!

私の仕事 (39)

看護生活支援部
1病棟 看護師
主任 岡崎 雅彦

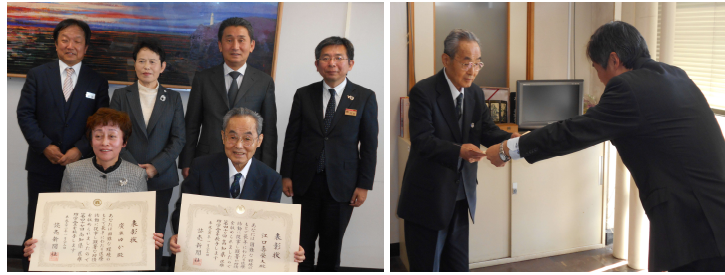
土佐希望の家医療福祉センターで働き始めて
11年が過ぎました。現在の1病棟に来て1年が
過ぎ、ようやく慣れてきたかと思えます。

現在の私は、一般業務を行いつつ主任業務を
こなしているため、沢山の職員の方々に何時も助け
ていただきながら働いています。私が仕事に対して
特に大事にしていることは、感染症が流行すると病
棟内で直ぐに感染が広がってしまうため、自分自
身が感染症にかからないように自己管理に努めて
いることです。そのためか、元々身体が丈夫なのか
今まで一度もインフルエンザやノロウイルスなどにも
感染したことがありません。そのため業務に穴を
開けることなく働くことができています。

もう一つは、土佐希望の家医療福祉センターは
いろいろな職種の方が働いていて、多職種との業務
はチームワークが必要であるため、組織やチームの
一員として自覚を持ち協調性を重んじていること
です。多職種との連携を図り、病棟の円滑な運
営、部署を取りまとめていくことも主任業務とし
て大切なことです。

看護の仕事はやればやるほど、やりがいのある、
そんな職種だと思っています。職員の方々や利用
者様、ご家族様に何時も感謝の気持ちを忘れず、
相手の気持ちに立った考え方ができるようにこれ
からも努力していきたいと思っています。

江口先生、受賞おめでとうございます。
これからもお元気でよろしくお祈りします。



長年にわたり地域医療に貢献した人をたたえる「第47回医療功労賞」に県内から江口壽榮夫副施設長が選ばれました。江口先生は岡山大学医学部大学院を卒業後、県立子鹿園に勤務。米国留学を経て70年に園長就任。97年まで脳性麻痺などの子どものリハビリや補装具の処方に尽力されました。2007年からは土佐希望の家施設長を経て、現在も副施設長として活躍されています。

江口副施設長 医療功労賞受賞

～各病棟イベント～

2病棟 1泊旅行・外出・クリスマス会



1病棟 クリスマス会



通園 クリスマス会



3病棟 1泊旅行・新年会



希望の家祭

10月14日、「希望の家祭40回もやるなんてはんばないって!!」をテーマに希望の家祭が開催されました。当日はステージに展示、フリマの出店で大賑わい。参加ご協力、盛り上げてくださった皆様ありがとうございます。



ボランティアの皆様

本年度も沢山のボランティアさんが希望の家に来てくださいました。また沢山の寄贈もしてくださりました。ありがとうございます。



鳶ヶ池中学校花寄贈、高知農業高等学校花寄贈、高知ライオンズクラブ、後援会おしゃべりカフェ・ほっちゃ・花寄贈、国際ソロプチミスト高知100呈茶、日産労働人形劇、ういずコンサート、バイタル家よさこい鳴子踊り、清和女子高等学校キャロリング、皆様どうもありがとうございました。

さちごんさんの詩

時の流れ
今は心も せいっぱい
ふかく せいっぱい
ふかく せいっぱい
おちこんでいるけれど
時の流れに
いやなことなんか
すぐに 忘れてしまわ
あとから いいことばか
あるとしんじている
上にあがる
一歩
どんなこと あるかな (原文)

祝・成人 森本杏奈様 松田まなな様 おめでとう 1つあります。



ご厚意

【寄付金・寄付物品】
小松正幸様、田村光昭様
福本祥久様、高知ライオンズクラブ様
島村秋雄様、吉本美代子様
大條地区社会福祉協議会野島明子様
高知友の会様、北村忠司様
小野坂順子様、高知農業高等学校様
鳶ヶ池中学校様

ありがとうございました。
今後ともよろしくお祈りします。

山崎勲杯・希望の家展

2月5日～7日までの3日間「第33回山崎勲杯」が開催されました。今年も例年通り多くの寄付金を賜りました。また、今年が高知競輪場内におきまして「土佐希望の家紹介コーナー」を設置いただき、ご来場の皆様に土佐希望の家の歴史や利用者様の作品をご覧いただきました。創設者の山崎勲氏にもご来席頂き大盛況でした。頂戴した寄付金は利用者様や施設のために活用させていただきます。ありがとうございます。



編集後記

今年度は通信の発行が2回しかできず申し訳ありませんでした。
1月行く、2月逃げる、3月去ると言われるように、今年に入りあっという間に時間が過ぎていきました。
気が付いたら4月となり慌てないよう、改めて限られた時間の使い方を直し時間を大切にしたいですね。

